

新規就農先輩の軌跡 No.24

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：生田 雅和（いくた まさかず） 住所：篠山市本郷 年齢：48歳</p>	<p>農地：133.4a（借地133.4a） 施設：ビニールハウス 2,580㎡ 経営内容： ・施設トマト 25a ・黒大豆枝豆 60a ・軟弱野菜 80a その他 労働力：本人、妻、パート4名 出荷先：量販店、有名デパート、直売等</p>  <p>栽培ほ場の様子</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>1999年8月～1年間篠山市の篤農家にて週末を利用し、農業研修 2001年 離職・就農 2001年 ハウス栽培（9a）を開始 2004年 ハウスを増設（16a） 2011年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 楽しい仲間と沢山出会え、自分の為に一生懸命に働ける事 ○ 苦労した点 気候条件が年々厳しくなり思うように栽培出来ない事、安定した販路を確実に維持する事</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>38歳で脱サラしたのは気力も体力も充実していたからで、「職人」、「生涯現役」を目指す夢が膨らんだ。 自分自身も料理に興味があり、「美味しい！」と言われる野菜を作りたいと思った。</p>	<p>夢や希望は大切ですが相当厳しい世界です。利益を追求しながら規模を広げる為には自分のセンスを如何に磨く事が出来るかにかかっています。また、「作る事」より「販路の確保」に最大の努力を払う必要があると感じます。</p>